



令和4年度 若竹

《学校教育目標》

夢と思いやりをもち、
しなやかに生きる力身につけた児童の育成
～最後までやり抜く子どもをめざして～

～山北小学校だより～ No.6

令和 4 年 10 月 31 日 文責 藤本

● 1年の折り返し ～前期終業式・後期始業式～

10月は学校にとって1年間の折り返しの月になります。

7日(金)の前期終業式では、金川ひよりさん(1年)、元田隼さん(3年)、野中琢磨さん(5年)が、前期にがんばったことを発表してくれました。校長講話では、プロ野球で活躍している村上宗隆選手と大谷翔平選手を紹介し、目標に向かって小さな取り組みをこつこつ積みかさねていくことの大切さを話しました。10月11日(火)の後期始業式では、中島礼道さん(2年)、松崎真大さん(4年)、松田楓雅さん(6年)が、後期にがんばりたいことを発表してくれました。校長講話では、伝統ある山北小学校を大切にしていくなためにできること、目標に向かって勇氣をもってチャレンジすることの2つの話をしました。後期は、次の学年に向けての準備期間でもあります。充実した学期になることを期待しています。

● 実りの秋 ～稲刈り・芋掘り～

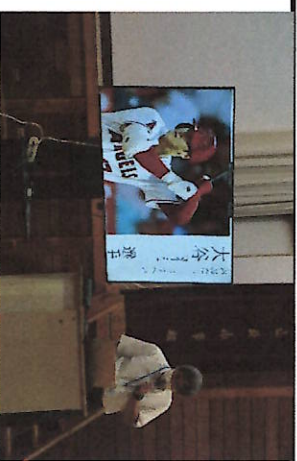
10月20日(木)、学校田の稲刈りを行いました。本来は5年生が中心に行う行事ですが、手刈りでの収穫となるため、前半は6年生も加えました。当日は絶好の稲刈り日和で、気持ちよく作業ができました。刈り取ることも大変ですが、刈った後に束ねるのに苦労していた子どもたちでした。天日干しされた稲と田んぼに中広がる、稲の独特な香りに秋の到来を感じた1日でした。

10月28日(金)は、1・2年生の芋掘り体験がありました。数日前から保護者の方に芋畑の草刈りといもづる切りをしていただいたので、当日、子どもたちは掘ることに専念することができました。収穫量の不安もありましたが、子どもたちの顔くらいの大サイズの芋もあり、大豊作でした。土にまみれながら、一生懸命に芋を掘り出す子どもたちの腫が輝いていました。採れた芋は、全校児童に配られました。

両日とも、朝早くから、たくさんの方の保護者の皆様にご協力いただき、ありがとうございました。

★ 誇れる山北小学校に ～「龍安寺作戦」開始～

地域のシンボルである山北小学校ですが、建築後約50年を迎え、どこころに傷みや汚れも見られます。そこで、京都にある「龍安寺」の話をしました。龍安寺は古い建物ですが、手入れが行きとどき、日本の伝統美の象徴となっています。伝統ある山北小学校をより美しく・誇れる学校にする活動が「龍安寺作戦」です。今、2年生や5年生を中心に子どもたちのボランティア活動が広がっています。



5年生の朝のボランティア活動